

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月補正予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：県民生活行政費

事業名 食品ロス削減普及啓発推進費（R8分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

環境エネルギー生活部 県民生活課 消費生活安全係 電話番号：058-272-1111(内3018)

E-mail：c11261@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 980 千円 （現計予算額： 0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	980	340	0	0	0	0	0	0	640
決定額	980	340	0	0	0	0	0	0	640

2 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

- ・県では、食品ロスの削減を総合的かつ計画的に推進するため、令和 4 年 3 月に「岐阜県食品ロス削減推進計画」を策定。始期から 4 年後の令和 7 年度に計画の見直しを実施。
- ・その計画に沿って、消費者・事業者・行政等の連携協力のもと、県民生活や事業活動等において食品ロスの削減につながる取組みを進めるため、食品ロスの削減に関する機運の醸成を図る。

（２）事業内容

- ①食品ロス削減に関する理解促進、普及啓発
食品ロス削減に繋がる具体的な行動を促進するため、エシカル消費の啓発と連動した普及啓発事業を実施する。
- 県内の小学校、中学校、高等学校、大学、一般向けにエシカル消費・食品ロス削減に関する出前講座を実施。（講師：消費者教育専門職等）
- 県民に、食品ロスの現状や食品ロス削減の取組みを知ってもらうため、エシカル消費・食品ロス削減に関する啓発教材を作成。ホームページに教材（PDF 版）を掲載し普及啓発、出前講座において活用。
- エシカル消費・食品ロス削減普及啓発に関する情報発信
食品庫の正しい保管方法、整理整頓術等をチェックリスト化してホームページや SNS 等で発信することで、「グリーン志向の消費行動」であるエシカル消費・食品ロス削減に関する意識の醸成を図り、家庭等における食品ロス削減の取組促進を図る。

②食品ロス削減推進協議会の開催

事業者や消費者、行政等が連携を図り、食品ロス削減施策を総合的・効果的に推進するため、食品ロス削減推進協議会を開催する。

（３）県負担・補助率の考え方

地域未来交付金（職員旅費は除く）を活用（１／２）

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	126	委員報償費
旅費	160	委員費用弁償、職員旅費
消耗品費	220	啓発資材等
印刷製本費	300	教材作成
委託料	160	SNSコンテンツ作成
使用料	14	会場借上料
合計	980	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

- 【「清流の国ぎふ」創生総合戦略】 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
(1) 地域の魅力・清流文化の創造・伝承・発信
③ 美しく豊かな環境の保全・継承
- 【岐阜県食品ロス削減推進計画】 v 推進施策

（２）国・他県の状況

「食品ロスの削減の推進に関する法律」が令和元年10月に施行されたことを受け、国及び各都道府県において食品ロスの削減を推進。

（３）後年度の財政負担

事業の継続性について、必要な検討を実施する。

（４）事業主体及びその妥当性

多様な主体が連携し県民運動として食品ロスの削減を推進するため、県が主体となって事業を実施することが重要である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

持続可能な「清流の国ぎふ」の実現に向けて、消費者、事業者、関係団体、行政等の各主体が、自身の行動が環境に与える影響を理解し、食品ロス削減につながる具体的な行動に移せるようにする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
①食品ロス削減の取組みを3つ以上行う県民の割合	78%	-	-	85%	100%	-

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	
令和4年度	<p>食品ロス削減月間（10月）に合わせ、教育委員会、大学、市町村、食品関連事業者等と連携して、食品ロス削減普及啓発キャンペーンを実施した。</p> <p>中高生を対象に、食品ロス削減啓発ポスター・標語コンテストを実施し、ポスター76点、標語1,956点の応募があった。</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和5年度	<p>食品ロス削減月間（10月）に合わせ、教育委員会、大学、市町村、食品関連事業者等と連携して、食品ロス削減普及啓発キャンペーンを実施した。</p> <p>中高生を対象に、食品ロス削減啓発ポスター・標語コンテストを実施し、ポスター146点、標語2,767点の応募があった。</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	県内における食品ロスを削減するため、県教育委員会、市町村、事業者等様々な主体と連携して、発生抑制に重点を置いた食品ロス削減の取組みを推進することが重要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	食品ロス削減に関するポスター・標語の募集等により、食品ロス削減への意識付けを行うことができた。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	県教育委員会、市町村、大学、事業者等と連携することにより、より効果的な普及啓発を実施している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 令和12年度までに食品ロス削減の取組みを3つ以上行う県民の割合を100%にするため、県教育委員会、事業者、市町村等と連携し、県民一人ひとりが食品ロス削減を自分事として捉えられるよう意識付けを行うことが必要。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 消費者、事業者、関係団体、行政等の連携協力のもと、食品ロスの削減につながる取組みが県民運動として展開される社会の実現に向けて、食品ロスの削減に関する普及啓発を行う。

(他事業と組み合わせる場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	